

---

昔の方がよかったのはなぜだろうかと言うな。それは賢い問いではない。

知恵は遺産に劣らず良いもの。日の光を見る者の役に立つ。

知恵の陰に宿れば銀の陰に宿る、というが知っておくがよい。

知恵はその持ち主に命を与える、と。

神のみ業を見よ。

神が曲げたものを、誰が直しえようか。

順境には楽しめ、逆境にはこう考えよ

人が未来について無知であるようにと

神はこの両者を併せ作られた、と。

(コヘレトの言葉 7・10―26)

---

2017年 春に巣立つ人たちへ。

トラトラ　トラトラ。　トラ年生まれのもの、存在そのものが元氣印のトラの皆さん。　声を上げれば、街ゆく人も、何ごとかとふり返る、元氣。明るくてひたむきな顔。授業でも部活動でも、一緒にいると、元氣になった。それは、楽しい人たちだったからだろう。楽しすぎて、うるさすぎて、落としたカミナリも度々。

三年間、よく頑張ったと思う。それぞれの苦もあり、悩みもあった。それに目の前で立ち合うこともあった。いきづまった表情を見せたときにも、その笑顔の中で苦しい壁に留まっているなと思ったときにも、そのことについて、声をかけることはしなかった。

その壁は、あなたに必要なものだった。そして、持ち前の明るさの中で、なんとあなたはのりこえてしまった。泣くほどに、沈み、はじけながら、知恵を身につけ、賢くなって、巣立つ人たちよ。この春また、貴重な戦士が、力

強くなって、出てゆく。

人生の三年間、あなたはドミニコをくぐりぬけて、どんなになっただろう。結論も正解も出ない。

道は示されている。用意された道から入り、たずねなさい。わたしは、これでしようかと。うまくいかないときは、思いっきり泣けばいい。

そしてまたいつまでも、人のことのために、泣く人であってほしい。時々、帰ってきて、報告をください。

(国語科 高橋 寛)